

問1 都市の人口構造を示す指標の一つに「昼夜間人口比率」があります。この比率が100を下回る地域（夜間人口が昼間人口を上回る地域）において、一般的に見られる社会現象について述べたものはどれですか。（2026年 群馬公立入試 類似）

1. 郊外の住宅地において、日中の地域コミュニティの維持や防犯活動の担い手が不足する現象。
2. 都心のオフィス街において、夜間の火災や災害時に救助活動を行う定住者が不足する現象。
3. 工業団地において、夜間勤務の労働者が増えることで24時間営業の店舗が急増する現象。
4. 観光地において、宿泊客の増加により夜間の人口が一時的に昼間の観光客数を上回る現象。

問2 東北地方では、8月上旬に「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」などの大規模な祭りが集中して開催されます。これらの夏祭りの日程が、8月2日から8日にかけて互いに少しずつ重なり合うように設定されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 長野公立入試 類似）

1. 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため
2. 各地域の農作業が一段落する時期が異なるため、古くからの習わしに従って厳密に日程を分けるため
3. 祭りに参加する囃子手や踊り手の不足を補うため、周辺の市町村から互いに応援を出しやすくなるため
4. 冷害などの気象災害が発生しやすい時期を避け、最も気温が高く晴天が期待できる期間に限定するため

問3 東北地方の電力事情について、青森県の下北半島や秋田県・山形県の日本海沿岸部などに、発電所を示す記号が帯状に多く分布している場合、これらは主にどの再生可能エネルギーを利用した発電所であると考えられるか。（2024年 青森県公立入試 類似）

1. 風力発電
2. 地熱発電
3. 水力発電
4. バイオマス発電

問4 山形県の酒田市には、明治時代に建設された「山居倉庫」などの米の貯蔵庫が今も保存されています。このような施設が最上川の河口付近に作られ、現在まで景観として残されている理由や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 庄内平野で収穫された銘柄米を、北前船などの海運を利用して運ぶまでの間、品質を維持しながら大量に保管する必要があったため。
2. 最上川の水源である西吾妻山からの豊富な雪解け水を利用し、米の代わりに酒造りを行うための醸造施設として活用するため。
3. 最上川の急流を利用した水力発電によって得られた電力を使い、米を精米してすぐに輸出するための臨海工業地帯を形成するため。
4. 庄内平野が海に面しており、冬の季節風による塩害から収穫したばかりの米を一時的に避難させるための防風施設が必要だったため。

問5 日本の太平洋沖合、特に東北地方の三陸海岸付近では、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）と、南から流れてくる暖流の黒潮（日本海流）がぶつかり合っています。このように、性質の異なる海流が合流する境界の場所を何と呼びますか。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. 潮目
2. 大陸棚
3. 海溝
4. バンク

問6 東北地方の最北端に位置し、北海道へと向かう新幹線の本州側における最後の停車駅がある県について、その農業の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 冷涼な気候を活かしたりんごの栽培が非常に盛んで、その生産量は全国第1位である
2. 盆地特有の気候を活かしたさくらんぼの栽培が盛んで、その生産量は全国第1位である
3. 水はけの良い台地を活かした茶の栽培が盛んで、その生産量は全国第1位である
4. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を受けにくいいため、みかんの生産量が全国第1位である

問7 青森県の産業構造について述べた次の記述のうち、正しいものはどれですか。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。
2. 果実の産出額は全国上位五位以内であるが、漁業生産量は全国平均を下回っており、海上輸送より陸上輸送が中心である。
3. 国内貨物海上輸送量は東北地方で最も多いが、農産物の産出額は全国的に見て低い水準に留まっている。
4. 漁業生産量は全国トップクラスであるが、果実産出額は東北地方の中でも低く、一次産業の偏りが大きい。

答え合わせ・解説

-
- 問1** **答え 1**
郊外の住宅地において、日中の地域コミュニティの維持や防犯活動の担い手が不足する現象。
- 昼夜間人口比率が100を下回るということは、その地域が主に居住用として利用されており、昼間は多くの人々が他の地域へ流出していることを意味します。このため、昼間の時間帯に地域に残る人が少なくなり、地域行事の運営や自主防犯活動といったコミュニティの維持が困難になるという課題が生じやすくなります。
-
- 問2** **答え 1**
観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため
- 東北地方の主要な夏祭りは、近接する各県が連携して開催期間を調整しています。例えば、青森では2日から7日、秋田では3日から6日、仙台では6日から8日といった具合に日程が設定されています。このように意図的に期間を連動させることで、観光客が1回の旅行で複数の祭りを訪れる「周遊観光」を促し、宿泊客の増加や滞在時間の延長といった経済効果を地域全体にもたらす工夫がなされています。
-
- 問3** **答え 1**
風力発電
- 東北地方の日本海側や沿岸部は、年間を通じて偏西風や季節風などの強い風が吹きやすいため、風力発電所の建設に適しています。地熱発電は奥羽山脈などの火山がある内陸部、水力発電は水流の落差が得られる山間部に多く立地するため、地図上の分布場所（沿岸部か内陸・山間部か）によって区別することができます。
-
- 問4** **答え 1**
庄内平野で収穫された銘柄米を、北前船などの海運を利用して運ぶまでの間、品質を維持しながら大量に保管する必要があったため。
- 酒田は、最上川を通じて内陸部から集められた米や、周囲の庄内平野で生産された米が集まる物流の拠点でした。特に江戸時代から明治時代にかけて、これらのお米を北前船などで大阪や江戸へ運ぶ際の待機場所として、山居倉庫のような大規模な貯蔵庫が必要とされました。二重屋根やケヤキ並木による温度管理の工夫がなされたこれらの倉庫は、当時の港町の繁栄を象徴する歴史的景観として保存されています。
-
- 問5** **答え 1**
潮目
- 寒流と暖流がぶつかる場所は「潮目（潮境）」と呼ばれます。この海域では、親潮が運ぶ豊富な栄養分によってプランクトンが大量に発生し、それを餌とする魚たちが集まるため、非常に豊かな漁場となります。三陸沖はその代表例として知られています。
-
- 問6** **答え 1**
冷涼な気候を活かしたりんごの栽培が非常に盛んで、その生産量は全国第1位である
- 問題文にある県は、地理的特徴と交通網の記述から青森県を指します。青森県は本州の北端に位置し、北海道新幹線の本州側の終点付近にあたる交通の要所です。気候面では冷涼な環境を活かしたりんごの栽培が国内で最も盛んであり、全国生産量の約半分以上を占めています。選択肢にあるさくらんぼは山形県、茶は静岡県、みかんは和歌山県などが主な産地です。
-
- 問7** **答え 1**
漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。
- 青森県は一次産業の生産力が極めて高く、漁業と果樹栽培の両分野で全国トップ5に入る実力を誇っています。また、その生産を支える物流面においても、東北地方で第2位となる高い海上輸送量を誇っており、生産と流通が結びついた産業構造が確立されています。
-